

H23.3.11 東日本大震災に伴う 災害廃棄物処理の取り組みについて



宮城県石巻市

生活環境部災害廃棄物対策課

はじめに

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方を中心とする東日本一帯を襲った有史以来最大規模である「東北地方太平洋沖地震」が発生し、そしてその地震に伴い太平洋沿岸部に押し寄せた大津波により、多くのまちでは壊滅的な被害を受け、1万9千人を超える人たちの尊い命が一瞬にして奪われるなど、これまでにない想像を絶する記録的な大災害となった。

石巻市においては最大震度6強を記録し、そのおよそ40~50分後に押し寄せた 大津波によって、沿岸地域の門脇、湊、渡波そして外洋に面した河北、雄勝、北上及び 牡鹿地区ではほとんどの家屋等が流出してしまう大きな被害を受け、およそ3,900人 (被災自治体単位では最大。)もの市民が死亡、行方不明となる大惨事となった。

この地震・津波により発生した廃棄物の量も膨大で、本市では616万3千トン (環境省推計値。被災自治体単位では最大で、次は東松島市の165万7千トン。岩手県 内合算値475万5千トンをも超える発生量。)と通年のゴミ処理量の106年分に相当す る量が発生し、全国では最も多くの災害ゴミが発生した場所として注目され、連日のよう に新聞あるいはTVに取り上げられ、現在その処理に全力を挙げて対応しているところで ある。

しかしながら、災害ゴミの処理についてはその発生量から到底一自治体で完結できるものではなく、本市では1次処理(現地より仮置き場までのごみの収集運搬)までを行い、2次処理(仮置き場から最終処分場までの運搬、分別、破砕、焼却、最終処分)を宮城県に事務委託し、役割分担をしながらより効率的に、そして広域処理のメリットを生かしながら、平成25年度末までの期間を目指して進めているところである。

現在までの1次処理は、市内23カ所にその仮置き場を設定し、解体を除くがれきの搬入が既に完了、倒壊家屋の解体・撤去が作業の中心となっている。平成24年3月末までに約305万トンが搬入済となっているものの、まだ搬入量は全体の49.5%に過ぎず早期の搬入が望まれている。

一方の2次処理については、石巻市雲雀野地区に処理施設を建設し搬入された災害ゴミの分別、破砕、焼却等を予定しているが、分別施設や焼却施設がまだ完成していない状態である。そのほかにも福島第1原発事故に伴う飛散した放射線量への理解、アスベスト処理対策など、まだ解決しなければならない課題も多いことも事実。早期の処理施設の稼働が待ち望まれている。

石巻市復興計画基本計画が示された現在、がれきの処理である復旧作業が遅れることによる復興の妨げにならないよう、全力を挙げて取り組むことが何よりも必要である。

石巻市の災害廃棄物処理の取り組み

1 災害廃棄物の発生量

- 616万3千トン
- ※ 石巻市の平成21年度におけるごみ処理量 約5万8千トン

2 災害廃棄物の内訳

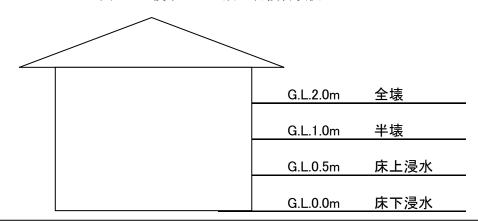
種類	廃 棄 物 量 (t)
建物等総量	3, 968, 940
建物等可燃物	1, 064, 184
うちチップ化	287, 330
うち焼却処分	776,854
建物等不燃物	2, 904, 756
廃自動車	86,679
廃船舶	13, 595
廃家電	9,612
水産品	27, 452
倒木	153, 934
汚 泥	1, 902, 788
可燃物	1, 245, 570
不燃物	4, 917, 430
	6, 163, 000

- ※ 現在策定中の災害廃棄物処理基本計画による推計値
- ※ 推計は随時見直しを行っており、災害廃棄物総量は変動しております。

3 建物の被害状況推計

航空写真判読及び現地調査による浸水レベル把握結果と、2011年の住宅地図を重ね合わせて建物の全壊、半壊、床上浸水、床下浸水を判定した。浸水レベルごとの建物の被害状況は図 1-1 に示すとおりとした。

図 1-1 浸水レベル別建物被害状況



参考 全壊、半壊の定義

全壊:住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、または、住家の損壊が甚だしく、補 修により元通りに再使用することが困難なもの。(損壊した床面積が延床面積の70%

以上)

半壊:住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに使用できるもの。(損壊した床面積が

延床面積の 20%以上 70%未満)

出典:災害の被害認定基準について(平成13年府政防第518号内閣府製作統括官通知)

被害建物の棟数及び延床面積

地区		存在建物		床下浸水		床上浸水		半壊		全壊	
		棟数	延床面積(㎡)	棟数	延床面積(㎡)		延床面積(m²)	棟数	延床面積(m²)	棟数	延床面積(㎡)
石巻地区	鉄筋	2,486	1,096,397	282	70,303	321	197,354	337	172,179	656	386,454
	鉄骨	12,483	1,957,267	1,332	180,250	1,426	193,780	1,633	216,069	3,501	791,414
	木造	66,002	5,369,850	8,497	660,802	8,742	684,910	9,405	709,353	17,675	1,913,792
	合計	80,971	8,423,514	10,111	911,355	10,489	1,076,044	11,375	1,097,601	21,832	3,091,660
27 16 16 57	鉄筋	871	183,102	21	2,898	21	2,898	23	3,167	45	6,368
	鉄骨	5,048	693,703	122	15,713	127	16,357	137	17,645	256	33,008
河北地区	木造	21,124	2,262,107	495	52,329	514	54,329	555	58,693	1,027	108,599
	合計	27,043	3,138,912	638	70,940	662	73,584	715	79,505	1,328	147,975
	鉄筋	145	40,206	0	0	0	0	1	43	66	15,344
牡鹿地区	鉄骨	730	92,503	2	404	2	404	1	202	285	38,300
11屁地区	木造	3,480	319,050	8	817	8	817	8	817	1,376	133,575
	合計	4,355	451,759	10	1,221	10	1,221	10	1,062	1,727	187,219
合計	鉄筋	3,502	1,319,705	303	73,201	342	200,252	361	175,389	767	408,166
	鉄骨	18,261	2,743,473	1,456	196,367	1,555	210,541	1,771	233,916	4,042	862,722
	木造	90,606	7,951,007	9,000	713,948	9,264	740,056	9,968	768,863	20,078	2,155,966
	合計	112,369	12,014,185	10,759	983,516	11,161	1,150,849	12,100	1,178,168	24,887	3,426,854

石巻地区:以下本庁、支所管内:本庁、河南、桃生

河北地区:河北、雄勝、北上

牡鹿地区:牡鹿

※桃生の全壊、半壊棟数は支所データによる。

4 災害廃棄物の処理方針

- (1) 災害廃棄物の処理体制
 - ① 家屋等解体………石巻市実施 全壊、大規模半壊及び半壊判定を受けた家屋並びに事業所の解体
 - ② 1次処理…………石巻市実施 被災地から1次仮置場までの収集運搬 半島及び沿岸部で集積された災害廃棄物の中間処理(2か所)
 - ③ 2次処理及び最終処分まで ……宮城県実施(宮城県へ事務委託) 1次仮置場から運搬し2次仮置場における分別、破砕、焼却、最終処分等
 - ※ 石巻工業港雲雀野埠頭において、鹿島建設株式会社東北支店を代表企業と した特定建設工事共同企業体(9社)により、処理する。(別添参考資料 「災害廃棄物処理施設建設工事等を含む災害廃棄物処理業務(石巻地区)の

概要 | 参照)

(2) 災害廃棄物の処理方法

資源化を基本とした処理を図るため、事務委託した宮城県と協力して実施

- ① 有価物 ………売却 (金属、自動車等)
- ② リサイクル材 ……リサイクル利用 (コンクリート殻、タイヤ等)
- ③ 可燃物 …… 宮城県に事務委託した石巻ブロックにおける処分を優先実施 するが、宮城県を通じて他自治体へも協力を要請
- ④ 不燃物 ·······市内処分を優先実施するが、宮城県を通じて他自治体へも協力 を要請(ガラス、陶器等)
- ⑤ 焼却灰 ……市内処分を優先実施するが、宮城県を通じて他自治体へも協力 を要請

(3) 災害廃棄物の処理期間

	1 年 後 (平成23年度)	2 年 後 (平成24年度)	3 年 後 (平成25年度)
災害廃棄物の撤去		-	
災害廃棄物の処理	•••••		

5 災害廃棄物の処理状況

(1) 災害廃棄物の一時仮置き場及び搬入状況 (H24. 3. 31現在) 49. 49%

116 17 77			面積	搬入量		
	地区名	仮置き場の名称	(ha)	(t)		
1	石巻地区	南境(運動公園第3工区)	15.0	125,621		
2	"	石巻工業港南浜埠頭	13.0	308, 405		
3	11	石巻工業港雲雀野埠頭	28.5	1, 408, 645		
4	"	御所入旧採石場	3. 0	60,781		
5	"	不動沢採石場	3. 0	61, 403		
6	"	川口町 (旧山西造船跡地)	6. 0	281, 388		
7	"	長浜 (県有地)	1. 6	99,405		
8	"	雲雀野公園	1. 4	73,763		
9	"	魚町西公園	2. 0	33, 750		
10	"	市女商高校校庭	1. 1	65, 786		
11	河北地区	旧河北地区衛生センター跡地	0. 7	11, 366		
12	雄勝地区	海洋センター前芝生広場	1. 0	9,805		
13	"	町民グラウンド	1. 0	66,059		
14	"	雄勝保育所等	1. 0	28,816		
15	河南地区	旧龍ノロ最終処分場	1. 0	32,036		
16	桃生地区	西嶺(民有地)	0. 7	8, 978		
17	"	桃生カントリーエレベータ前	1. 5	32, 858		
18	北上地区	にっこりサンパーク第1	2. 0	64, 191		
19	"	にっこりサンパーク第2	2. 0	61, 457		
20	牡鹿地区	山鳥駐車場	1. 8	38,698		
21	"	表浜漁港	2. 0	22, 522		
22	"	谷川 (県水産公社跡地)	3. 0	71,111		
23	"	清崎 (市有地)	2. 0	1, 883		
	直接搬出	石巻地区	_	21, 424		
		河北地区	_	18,943		
		雄勝地区	_	4,813		
		河南地区		968		
		桃生地区	_	2, 946		
		北上地区	_	1, 778		
		牡鹿地区	_	30, 231		
	合 計		94.3	3, 049, 830		

(2) 環境省による沿岸市町村の災害廃棄物処理の進捗状況(抄) (H24.3.26 現在)

		ガレキ推計量 (千t) うち家屋等		仮置	置場への搬 力	ガレキ推計量に	
県	市町村	(千t)	うち家屋等	仮置場	仮置場	搬入済量	対する搬入済
ж	113 143 43		解体による	設置数	面積	が (千t)	量
			ガレキ推計		(ha)		の割合(%)
	洋野町	15	3	1	3.0	15	100.00%
	久慈市	96	20	4	5.0	96	100.00%
	野田村	140	10	9	11.0	140	100.00%
	普代村	19	2	2	2.0	19	100.00%
	田野畑村	86	20	3	4.0	86	100.00%
岩	岩泉町	42	5	1	4.0	42	100.00%
手	宮古市	715	140	9	30.0	645	90.00%
県	山田町	399	40	19	18.0	395	99.00%
	大槌町	709	40	17	31.0	691	97.00%
	釜石市	762	400	11	19.0	381	50.00%
	大船渡市	756	130	14	36.0	717	95.00%
	陸前高田市	1,016	90	14	83.0	934	92.00%
	計	4,755	900	104	246.0	4,161	88.00%
	気仙沼市	1,367	330	21	43.3	1,349	99.00%
	南三陸町	560	260	15	15.9	322	58.00%
	女川町	444	251	4	5.8	284	64.00%
	石巻市	6,163	4,700	24	162.7	3,000	49.00%
	東松島市	1,657	1,300	5	51.8	1,150	69.00%
	利府町	15	10	5	4.8	15	100.00%
۱	松島町	43	27	5	1.9	43	100.00%
宮城	塩釜市	251	100	3	5.8	249	99.00%
県	七ヶ浜町	333	50	4	12.2	260	78.00%
75	多賀城市	550	401	8	10.8	357	65.00%
	仙台市	1,352	450	3	103.4	1,315	97.00%
	名取市	636	50	3	41.6	634	100.00%
	岩沼市	520	90	18	54.8	515	99.00%
	亘理町	1,267	10	5	86.1	1,255	99.00%
	山元町	533	340	21	66.5	524	98.00%
	計	15,691		144	667.4	11,272	72.00%
	新地町	94	5	4	7.2	89	95.00%
	相馬市	254	23	2	31.1	243	96.00%
	南相馬市	640	30	9	42.1	502	78.00%
福島県	浪江町	147					0.00%
	双葉町	60					0.00%
	大熊町	37					0.00%
	富岡町	49					0.00%
	楢葉町	58					0.00%
	広野町	43	25	1	3.0	18	42.00%
	いわき市	700	550	18	23.8	512	73.00%
	計	2,082	633	34	107.2	1,364	66.00%
	合計	22,528		282	32,712.0	16,797	75.00%
	H HI	22,020	J,JUZ	202	02,712.0	10,737	70.00/0

- (3) 分別方法
 - ・ガレキ類 ・鉄類 ・木材類(柱材) ・家財類 ・家電類 ・汚泥 ・家電
 - ・家電リサイクル4品目(テレビ、エアコン、冷蔵・冷凍庫、洗濯機・乾燥機)
 - ・コンクリート殻 ・アスファルト殻 ・津波堆積物
- 6 宮城県に事務委託した主な災害廃棄物の取り扱い
 - (1) 木材類(柱材)

バイオマスプラントの燃料、合板の材料等として使用するため、"日本製紙株式 会社石巻工場"及び"株式会社セイホク石巻工場"へ搬出

(2) コンクリート殻

破砕したうえで路盤材や埋立材等に利用中(公共用地に限る。)

(3) 津波堆積物(土砂等)

固化処理したうえで路盤材や埋立材等に利用検討中

(4) 被災船舶

所有者の確認から引き渡し、解体及び撤去について宮城県へ事務委託 被災船舶数 2,400隻(8~9割は解体処分となる予定)

(5) 被災冷凍水産物

被災冷凍水産物量 47,000t 宮城県へ事務委託

28,000t 海洋投入処分

19,000t 山形県の産業廃棄物処理場へ運搬し埋め立て処分

(6) 被災米

被災米量 18,000 t

政府米 15,000 t 国が処分

その他 3,000t 宮城県へ事務委託

(7) 被災飼肥料

被災飼肥料量 35,000 t

飼料 20,000t 宮城県へ事務委託

肥料 15,000t 石巻市が石巻工業港の仮置場へ搬入中

7 被災自動車の取扱い

(1) 石巻市における被災自動車の概要(H24.3月27日現在)

推定被害台数 62,625台(被災率52.7%)

うち調査実施台数 21,266台

移動台数 17,004台(民間事業者に収集運搬等委託)

引渡済台数3,966台保管台数13,038台

Nº	保管場所	台 数	Nº	保管場所	台 数
1	南境	3, 483	8	登米第2	2, 398
2	雲雀野第1	1, 558	9	河南	7 1 0
3	雲雀野第2	1, 106	10	牡鹿	4 2 8
4	雲雀野第3	1, 528	11	北上	5 3 9
5	雲雀野第4	2 4 7			
6	伊藤製鉄野球場	1, 041			
7	登米第1	0		合 計	13,038

(2) 被災自動車の処分

民間業者に委託し、被災自動車の調査、状況記録及び保管場への移動を実施中

① 所有者情報の調査

宮城運輸支局に所有者情報を照会

↓ 件数:14,437件 回答:12,545件

② 使用者に対し処分の意向確認

処分について使用者が自ら処分するのか、市に委ねるのかの照会

↓ 件数:7,215件 回答:2,730件

③ 意向確認により

自ら処分する車両 ⇒ 所有者に引渡し

市に処分を委ねる車両 ⇒ 入札方式により引渡処分

随時入札により処分

※ 処分に関する意思表示がされない自動車及び連絡が取れない自動車並び に所有者が判明しない自動車については、市において3か月間の公告期間を 経て市において処分

8 今後の予定(災害廃棄物処理スケジュール)

H 2 3年5月 ~	H 2 3 年 9 月 ~	H25年4月 ~
H23年8月	H25年3月	H26年3月
ガレキの撤去		
(生活環境周辺域)		
		
	ガレキの撤去	
	(その他の地域)	
	ガレキの処理	





ガレキ撤去が進んだ市街地遠景





ガレキ撤去前の石巻市南浜地区 (一般住宅地及び市営住宅)

1次仮置き場への搬入状況



被災現場より搬入された災害がれき



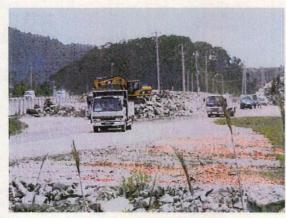
同左



被災した家電類



1次仮置き場全体写真



コンクリート殻の集積風景



たたみ類の集積



汚泥関係の集積



オゾンによる消毒風景



汚泥臭を石灰でコート



飛散防止剤(クリコート)散布 【H23.07 撮影地:南境1次仮置き場】



がれき置き場からの火災発生による消火活動



自然発火防止の熱放出用パイプ 【H23.10 撮影地:湊御所入仮置き場】